

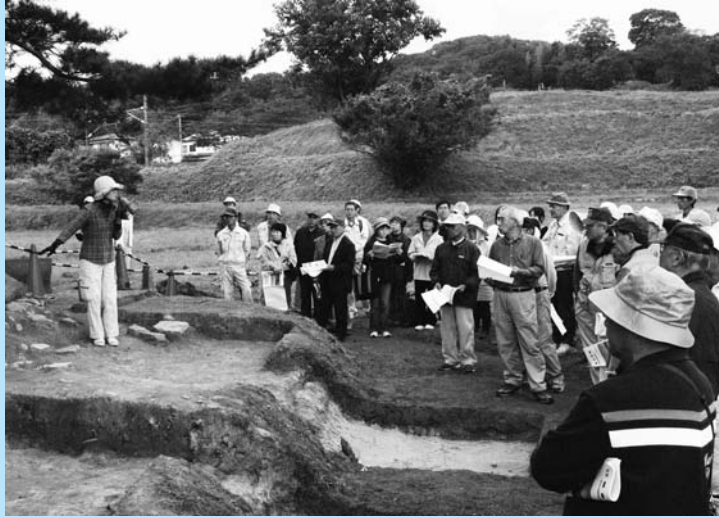
発掘調査の成果発表 2遺跡で現地説明会

県教委による柳之御所遺跡と町教委による無量光院跡の20年度発掘調査現地説明会が10月4日、両遺跡で行われました。

柳之御所遺跡では、遺跡中心部を取り囲む2本の堀について説明。2本の堀は同時期に存在せず、1本の堀が作り替えられたことなどが解説されました。

無量光院跡（写真）では、本年度新たに見つかった溝跡や、池北側と東側の岸などを確認しました。

約100人の参加者は、調査員の説明を聞きながら、歴史のロマンに思いをさせていました。



文化遺産を歩いて体験 歴史の道ウォーキング

史跡地などを歩いて訪ねる「歴史の道ウォーキング」が10月25日、旧観自在王院庭園を発着点に行われました。

第8回目を迎えた今回は、県ウォーキング協会第8回県大会と合わせて開催。町内外から約230人が参加しました。

7班に分かれて出発した歴史の道ウォーキング部門の参加者は、観光ボランティアや町文化財調査員の説明を熱心に聞きながら、柳之御所遺跡や中尊寺、毛越寺、無量光院跡など15カ所を歩いて巡り、奥州藤原氏時代の平泉に思いをさせていました。



高齢者を事故から守ろう！ 母の会連合会が署名を提出

町交通安全母の会連合会（千葉千代子会長）は10月22日、町民3612人が署名した「高齢者を交通事故から守る交通安全誓約書」を町に提出しました。

誓約書では、高齢者と一般運転者等が遵守する事項としてそれぞれ「夜光反射材を着用する」「思いやり運転に努める」などを誓っています。



職場全体で交通安全を誓う JAいわて南が署名を提出

JAいわて南は10月2日、平泉町民の職員39人が署名した交通安全誓約書を、町交通安全対策協議会に提出しました。

職員一人ひとりが「絶対に飲酒運転しません」などと直筆で誓約。安全意識を高め、交通問題に職場全体で取り組むことが誓われました。



清衡公役に村上さん 遷都行列初めて再現

奥州藤原氏の初代・清衡公が江刺郡豊田館から平泉へ拠点を移した歴史を再現する「清衡公遷都行列」が10月4日、奥州市内を巡りながら当町に到着する行程で初めて行われました。俳優・村上弘明さんを清衡公役に、時代衣装に身を包んだ騎馬行列が練り歩き、詰め掛けた観客を魅了しました。

一行は同市内での行事を終えた後、当町入り。毛越寺通りで行進を練り上げ、旧観自在王院庭園で遷都行列到達式を催してフィナーレを飾りました。



地場産米粉麺など展開 「農家茶屋」がオープン

有限会社峰岸ファーム（字南沖）が9月27日、中尊寺月見坂下に米粉麺を主体にした農家レストラン「平泉農家茶屋」をオープンしました。有機栽培ひとめぼれを使った食事や土産品で、訪れた観光客や地元の人をもてなしています。

町担い手育成総合支援協議会の支援を得てオープン。「縁起ごりやく麺」と名付けた米粉麺や「名代ひとめぼれうどん」「地野菜カレー」はっと汁定食、など、地場産の農産物を基本にしたメニューを展開しています。



収穫の喜びを味わう 平泉小で稲刈り体験

長島小が10月2日、平泉小が15日に、それぞれの学習田で稲刈り体験学習を行いました。

このうち平泉小では、4、5年生約100人が稲刈りを体験。自分たちが春に植えた苗の成長を確認できるように、慣れない手付きながらも次々と稲を刈り取り、収穫の喜びを肌で感じていました。



県南の6団体が熱演！ ひらいずみ郷土芸能祭

ひらいずみ郷土芸能祭「神楽大会」が10月26日、平泉郷土館で開かれました。

当町の赤伏神楽、達谷窟毘沙門神楽をはじめとする県南地方の6団体が出演。会場に訪れた熱心な神楽ファン約250人は、軽快で華やかな舞の数々に、盛大な拍手を送り続けていました。